

新たな財源活用事業のアイデア**1. 委員から事前に提案があった事業**

事業名 ①	剪定枝・草刈ゴミ等の堆肥化事業設立委員会の設置
目的・効果	焼却処理をしている剪定枝・草刈りゴミ・廃棄野菜や果実等を堆肥化し、公募の商品名をつけて京都府南部や奈良市のホームセンター等へ卸す。販売収益は堆肥化事業の人件費等を含む事業運営費に充当する。 焼却施設助燃費用の低減が計れると共に、焼却設備の耐用年数が延長できる。CO2 排出抑制の効率も高まり、地球温暖化防止活動にも効果が揚がる。 事業施設の運営は市民団体に委嘱して行う事で、資源循環の啓発及び循環型社会づくりの推進が行える。 生ゴミ堆肥化講習会や家庭菜園講座も行い、市全体の循環環境意識の高度化が図れる。
事業の概要	堆肥化ヤードは木津川市で建設。運営は市民団体へ委託。
想定される経費	先進地の事業を視察し、事業計画を企画する段階で算定する。
先進地事例	豊中市 環境部 公園みどり推進課 緑化自然環境係

《検討のポイント》

- 具体的な実施方法をどこまで盛り込むか。

- 公設・民営（団体による運営）のメリットとデメリット

2. 市民等から問合せや要望があった事業

事業名 ②	剪定枝粉碎機の無料貸出事業
目的・効果	家庭で剪定した枝等をチップ化し、資源として活用することで可燃ごみを減量するとともに、家庭の手数料負担を軽減します。
事業の概要	電動の剪定枝粉碎機を無料でご家庭まで配達し、剪定枝をチップ化して資源(庭のマルチング材や堆肥の材料等)として利用できるようにします。(可燃ごみとして排出される場合も、乾燥を促進することで減量に寄与します。)
想定される経費	・電動剪定枝粉碎機の購入費 約5万円/台(初年度3台を想定:初年度経費 約15万円)
先進地事例	神奈川県逗子市 など

事業名 ③	電気式生ごみ処理容器購入補助金
目的・効果	生ごみの減量に意欲はあるものの、ニオイ等の懸念からバイオ式生ごみ処理容器の導入に消極的な家庭に対し、新たな選択肢を用意することで生ごみの減量を促進します。
事業の概要	現行の「バイオ式生ごみ処理容器購入補助金」の対象を電気式へ拡充します。
想定される経費	補助金 上限2万円/基(補助率1/2) 初年度10基(20万円)程度の利用を見込む。
先進地事例	京田辺市、舞鶴市 など

事業名 ④	無料給水スポットの設置
目的・効果	水道水の無料給水スポットを設置し、マイボトル持参を推奨することでペットボトルの消費削減を図るとともに、飲料水の輸送に伴う温室効果ガスの削減を図る。 無料給水スポットの設置は、熱中症予防等の健康増進効果も期待されることから、政策統合の取り組みとして期待される。
事業の概要	公共施設等へマイボトルへの給水が可能な給水器を設置する。
想定される経費	200万円程度/基(本体価格+設置工事) ※機能や設置場所により大きく変動します。レンタルも可能。
先進地事例	生駒市

3. 事務局から提案する事業

事業名 ⑤	環境保全指導員（仮称）の配置
目的・効果	非常勤の職員として、環境カウンセラー等の実践経験を有する者をまち美化推進課内へ配置し、可燃ごみ有料指定袋制に関する業務の専任とすることで、財源活用事業全般の推進や新たな事業の企画立案を加速させます。 また、指定袋の規格等の検証・改善にも取り組みます。
事業の概要	非常勤の職員（会計年度任用職員）として、環境カウンセラー等の実践経験を有する者を雇用します。初年度は、週3日程度の勤務を想定し、以降は業務量に応じて検討します。
想定される経費	220万円程度 ※これまでの経歴や勤務日数によって変動します。
先進地事例	—